

ICT活用工事積算要領（ブロック据付工編）（令和3年4月改定版）

ICT活用工事を実施する場合の積算については、以下に示す手順によるものとする。

① 工事価格

・ 共通仮設費（率）は、下表による率を用いて算出する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 20 億円以下		20 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
港湾構造物工事	7.97% (7.97%) <7.93%>	132.7 (134.0) <134.6>	-0.1802 (-0.1808) <-0.1814>	2.80% (2.79%) <2.77%>
海岸工事	13.08% (13.07%)	407.9 (407.7)	-0.2204 (-0.2204)	4.24% (4.23%)

※ICT基礎工が含まれる工事は（ ）の率を、ICT海上地盤改良工とICT基礎工の両方が含まれる工事は、< >の率を、適用する。

共通仮設費率の算定式

$$K r = a \cdot P b \text{ (小数3位四捨五入)}$$

ただし、

K r : 共通仮設費率 (%)

P : 共通仮設費率の算出対象額 (円)

a、b : 定数値

② 「ICT施工」代価表

(1) ブロック据付 (1スイング) 1日 (個) 当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
クレーン付台船 または 運転 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	日	1	運6H/就8H
引 船	鋼D PS型	〃	1	運2H/就8H
潜水士船	D180PS型 3~5t吊	〃		就業8H
と び 工		人		
普通作業員		〃		
施工管理システム		日	1	
雑 材 料				

※据付が水中の場合のみ、施工管理システム計上の対象とする。

(2) ブロック運搬据付（海上一連方式） 1日（個）当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	日	1	運・操能力/就 8H
引 船 "	鋼D PS型	"	1	"
潜 水 士 船 "	D180PS型 3~5t吊	"		就業 8H
と び 工		人		
普 通 作 業 員		"		
施 工 管 理 シ ス テ ム		日	1	
雑 材 料				

※据付が水中の場合のみ、施工管理システム計上の対象とする。

(3) ブロック運搬据付（陸海一貫方式） 1日（個）当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間
ト ラ ッ ク または ト レ ー ラ	t積	"		"
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	"	1	運・操能力/就 8H
引 船 "	鋼D PS型	"	1	"
潜 水 士 船 "	D180PS型 3~5t吊	"		就業 8H
と び 工		人		
普 通 作 業 員		"		
施 工 管 理 シ ス テ ム		日	1	
雑 材 料				

※据付が水中の場合のみ、施工管理システム計上の対象とする。

③ 測量業務価格（完成断面把握のための測定の費用）

- ・水中部におけるマルチビーム測量に伴う現地測量については別紙により算出する。
- ・気中部はUAVやレーザースキャナーに伴う測量となるため、見積を標準とする。

（参考）見積項目

【測量作業費】

- 1) 測量準備（水中部及び気中部）
- 2) 標定点の設置（気中部）
- 3) UAVによる空中撮影又は地上レーザ観測（気中部）
- 4) 測量及び測深データ（水中部及び気中部）

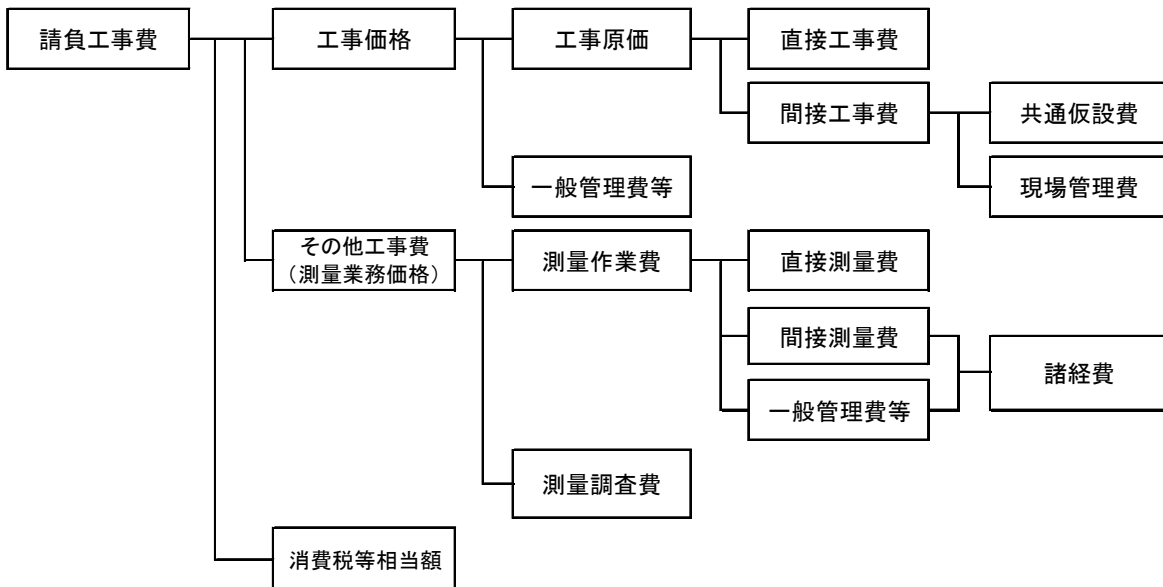
【測量調査費】

- 5) 3次元モデル作成

※その他、必要に応じ項目を計上すること。

- ・「業務成果品」「諸経費」は、③の直接測量費の合計を対象金額として算出する。
- ・「その他原価」「一般管理費等」は、3次元モデル作成の直接人件費、業務原価を対象として算出する。

④ 算出した③測量業務価格をその他工事費に計上し、①工事価格と合算する。



## ICTブロック据付工に適用する測量歩掛について

(完成形状把握のための測量)

項目	ICTブロック据付工事実施に使用する特定代価					
数量計算等	完成形状把握のための測量					
	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内 容	単 位	数 位	摘 要
	測量準備	機材運搬		〃	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位の場合は小 数3位四捨五入とする。	四捨五入
	水深測量	検潮基準測定		式		
		検潮	測定日数	日		
		検潮資料整理	測定日数	〃		
		艀装テスト		式		
マルチビーム測深		測深面積	km2			
① 測量準備	/					
② 機材運搬	機材運搬 (2往復当り) 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	測 量 補 助 員		人	2		
	ト ラ ッ ク	2t積	日		標準運転時間	
	雑 材 料		%	1		
※トラックの能力は、基準2編1節3-2-2 機材運搬による。						
③ 検潮基準測定	検潮基準測定 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交 通 車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	主 任 技 師	測 量	人	1		
	技 師	〃	〃	1		
	雑 材 料		%	1		
※基準2編1節3-4-2 検潮基準測定により、必要に応じ計上する。						
④ 検潮	検潮 1日当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交 通 車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	助 手	測 量	人	0.3		
	雑 材 料		%	1		
※基準2編1節3-4-3 検潮により、必要に応じ計上する。						
⑤ 検潮資料整理	検潮資料整理 10日当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	技 師	測 量	人	1		
	技 師 補	〃	〃	1		
	助 手	〃	〃	1		
	雑 材 料		%	1		

## ICTブロック据付工に適用する測量歩掛について

(完成形状把握のための測量)

項目	ICTブロック据付工事実施に使用する特定代価				
⑥ 艀装 テ ス ト	艀装テスト 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1.5	
	技 師 補	〃	〃	1.5	
	助 手	〃	〃	1	
	測 量 船 ( 運 転 )	FRP D70PS型	日	1	就業 8H
	GNSS		〃	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑 材 料		%	1	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-2 艀装テストにより、損料等を計上する。					
⑦ 測 深	測深 1日当り( km <sup>2</sup> )				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	測 量 船 ( 運 転 )	FRP D70PS型	〃	1	就業 8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1	
	技 師 補	〃	〃	1	
	助 手	〃	〃	0.5	
	GNSS		日	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑 材 料		%	2	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-3 マルチビーム測深 の作業能力、損料等により計上する。 最大測深幅: E4は60度、重複率: E5は100%を標準とする。 受注者の責に起因しない遅れが生じた場合は、拘束費用等を別途考慮することができる。					